

東京大学×小松マテールの共同プロジェクト

未来に繋がる快適・安全な都市環境のアイデア

“サステナブル・プロトタイピング・ラボ”による展示会・メディア説明会・シンポジウムを開催！

拝啓 晩冬の候 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、心から感謝申し上げます。さて、弊社がかねてより東京大学 建築学部 隈研吾研究室と共同で、「持続可能なこれからの街づくりに必要とされる材料メーカーの使命は何か？」をテーマに研究・開発に取り組んでおります。2013年3月、研究拠点として「サステナブル・プロトタイピング・ラボ(以下、SPL)」を設立し、2014年より東京大学と共に展示・報告会を継続開催して参りました。本年度は隈先生の東京大学教授退官にともない、これまでの総決算として『未来に繋がる快適・安全な都市環境のアイデア』と題し、開催いたします。

展示会場では、2019年度 屋上・壁面緑化コンクールにて環境大臣賞を受賞した「多孔質セラミックス『グリーンビズ』」やようやくJISとして標準化された「熱可塑性炭素繊維複合材料『CABKOMA』」などの材料を基に、未来に向けた環境デザインをパースや模型・動画を用いて提案し、材料の機能性を分かり易く展示いたします。特に本年度は、昨今の自然災害を憂い、「環境・安心・安全・快適」に重点を置き、ご来場の皆様方と、これからの環境デザインについて考える場といたたく存じます。また、特別ゲストとしてサステナブル建築デザインの専門家 伊香賀俊治先生(慶應義塾大学教授)、馬郡文平先生(東京大学特任講師)をお招きし、シンポジウムも開催いたします。是非、会場へご来場頂ければ幸いです。

敬具

開催概要

日 令和2年 2月20日(木) 13:00 ~ 18:30
場 東京大学工学部1号館
所 東京都文京区本郷7丁目3番1号

1 展示会 13:00~18:30 東京大学工学部1号館2F 製図室

2 メディア説明会 15:30~16:00
15:00より受付開始 東京大学工学部1号館2F 製図室

プログラム

1. SPLと小松マテールの取り組みについて
2. この先に繋げる都市環境のアイデアについて
3. カボコーマの使用用途の拡がりについて
4. 展示物のご紹介

登壇者

建築家・東京大学建築学専攻教授

隈 研吾

小松マテール株式会社 代表取締役会長兼社長

中山 賢一

3 シンポジウム 17:00~18:30 東京大学工学部11号館 講堂
16:30より受付開始 HASEKO-KUMA HALL

テーマ

未来に繋がる快適
安全な都市環境のアイデア

登壇者

慶應義塾大学教授

伊香賀 俊治

東京大学特任講師

馬郡 文平

建築家・東京大学建築学専攻教授

隈 研吾

建築家・東京大学建築学専攻准教授

小淵 祐介

【展示予定品のご紹介】

■グリーンビズについて

「グリーンビズ」は、染色産業の廃棄物(余剰バイオマスケイク)を有効利用し開発された超微多孔性の発泡セラミックスです。地球環境の保護・保全を経営の最重要課題の一つとして挙げる小松マテレーが2009年より屋上緑化材、路面温度低減舗装材料として販売を開始。都電荒川線軌道への敷設に際し、環境貢献効果が高く評価され、2019年度 屋上・壁面緑化コンクール環境大臣賞を受賞しました。



都電荒川線の軌道緑化にて環境大臣賞を受賞

■カボコーマについて

「カボコーマ」は小松マテレーが開発した画期的な熱可塑性炭素繊維複合材料の総称です。ワイヤー状のストランドロッドは、軽量かつ高い引張強度を有することから、文化材建造物等の耐震補強材として多数案件に採用されております。また2019年11月、炭素繊維複合材より線(耐震補強用引張材)はJIS規格(日本産業規格)に制定されました。鉄に代わる新素材として注目を集め始めています。



“カボコーマストランドロッド”を使用した水平ブレース事例

【2018年開催時の様子】



展示会



メディア説明会



シンポジウム



隈 研吾(くま けんご)

1954年横浜生まれ。1979年東京大学建築学科大学院修了。コロンビア大学客員研究員を経て、2001年より慶應義塾大学教授。2009年より東京大学教授。1997年「森舞台 / 登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞、同年「水 / ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。2002年「那珂川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー 国際木の建築賞受賞。2010年「根津美術館」で毎日芸術賞受賞。2019年春に「紫綬褒章」を受章。近作にサントリー美術館、根津美術館、歌舞伎座。



小松マテレー株式会社

小松マテレーは、1943年の設立以来『モノ』ではなく『技術を売る』企業として、主力の繊維・高分子技術をもとに、ファッション、スポーツ、インテリア、生活資材、医療・福祉、車両内装材、環境関連事業など、多彩な事業領域をカバーするファブリック & 環境共生素材メーカーです。

- 設立：1943年(昭和18年)10月
- 代表者：代表取締役会長兼社長 中山賢一
- 資本金：46億8,042万円
- 売上高：39,078百万円(2019年3月期連結)
- 従業員数：1,276名(2019年3月31日現在)
- 上場取引所：東証1部(証券コード3580)

FAX 返信状

“サステナブル・プロトタイピング・ラボ” シンポジウム
未来に繋がる快適・安全な都市環境のアイデア

FAX ご返送先：小松マテール PR 事務局 宛

FAX：03-3547-0005

※御手数ですが、各イベントのご出欠をご記入くださいますようお願い致します※

●展示会(11:00～18:30) ご出席 ご欠席

●メディア説明会(15:30～16:00/15:00受付開始) ご出席 ご欠席

●シンポジウム(17:00～18:30/16:30受付開始) ご出席 ご欠席

日 令和2年2月20日(木) 場 東京大学工学部1号館
時 13:00～18:30 所 東京都文京区本郷7丁目3番1号

御社名： _____

媒体名： _____

御芳名： _____

電話番号： _____

撮影の予定： 有 (ムービー・スチール) / 無

参加人数： _____ 名(ご本人様含む)

※個別取材をご希望の際は、前日までにPR事務局までご相談下さい。

※大変恐縮ではございますが、当確認用紙に上記必要事項をご記入の上、

2月19日(水)18:00までにFAXにてご返信くださいますようお願い申し上げます。

個人情報の記入に当って

ご記入頂きました個人情報は、今回のイベント関連の出席者管理・ご連絡のみに利用させていただきます。イベント関係者以外の第三者への提供・預託は行いません。本ご返信状に個人情報を記入頂く場合には、下記内容をご確認・ご同意の上、同意欄にチェックの上ご返信をお願い致します。

個人情報の送信に同意する

当社の個人情報保護方針、並びに個人情報の取り扱いに関するお問合せは miyata@bullseyecom.co.jp までお願い致します。

～本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先～

小松マテール PR 事務局(ブルズアイコミュニケーションズ内) 担当：宮田

TEL：03-6452-6277 FAX：03-3547-0005 MAIL：miyata@bullseyecom.co.jp

当日連絡先(宮田携帯)：090-1763-5090